

別紙 1 - 2 (様式第 1 ・ 様式第 5 添付用)

提案型協働事業計画書 (活動支援交付金)

団 体 名	特定非営利活動法人 ゆめフルたけとよスポーツクラブ		
	設立年月日	平成 2 3 年 1 1 月 9 日	団体の構成人数 1 7 名
1 事業の名称及び実施期間	名称：館内を歩いて、避難体験とたけとよ新発見 期間：令和 4 年 9 月 1 日から令和 4 年 1 1 月 3 0 日		
2 該当する第 6 次総合計画の 9 つのまちづくりの目標	4. 人と人がつながり、互いに支え合い、健康で安心して暮らせるまち 5. 災害に強く、安全、安心に暮らせるまち 6. 産業が持続・発展する活力のあるまち		
3 解決へ向けて取組む地域課題	<p><b>【防災分野】</b>                  津波や水害等の災害発生時には、身を守る行動をとる必要があります。特に普段あまり外出せず、ウォーキング等を日常的に行っていない人は、防災グッズを持って避難目標地点まで速やかに移動できない可能性があります。災害についての知識を習得することに加え、避難を完了する必要があります。</p> <p><b>【産業分野】</b>                  武豊町の特産品や農産物等の地産地消を推進する中で、特産品や農産物に関して「販売所」以外で目にする機会は少ないと思われま。地産地消を推進する上では、販売所に訪れる人だけでなく、幅広く様々な人の目に触れる必要があります。</p>		
4 協働対象部署	産業課、防災交通課		
5 事業の内容等  (1) 事業内容と方法 (2) 実施場所 (3) 対象者 (人数等具体的に) (4) 事業 P R の方法 (5) その他	<p>(1) ウォーキングによるスタンプラリー (3 か月間予定)                  ランニングコース (1 周 180M) に 3 か所の掲示エリアを設け、初級・中級・上級者のレベルに合わせた周回数を歩いていただく。アンケートを実施し避難についての理解度、みそたまり及び、農産物・加工品への関心度を調査する。</p> <p>① 防災エリア                  ハザードマップ、避難目標地点の写真等を掲示したエリア。また、1 階ロビーには津波の高さを実感していただくコーナー、避難に必要な物資を掲示するコーナーを設置します。</p> <p>② みそ・たまりエリア                  武豊町の「六つの蔵」の写真、みそ・たまりを使った料理の写真の掲示と発酵食品の効能を紹介するエリア。</p> <p>③ 武豊産品・加工品エリア                  武豊町の農業産品・加工品等の紹介及び、産品・加工品を販売している、まちの駅「味の蔵たけとよ」を紹介するエリア。</p> <p>(2) 武豊町総合体育館ランニングコース                  (3) 1 8 歳以上 すべての参加希望者                  理由：コース幅が狭いため子供はぶつかるなどの事故につながりやすく、1 8 歳以上としました。</p> <p>(4) 広報たけとよに掲載、体育館内および公共施設へポスター掲示、チラシ配布 (来館者以外にも P R するため新聞折込の実施)</p>		

	(5) 完走後及び、2か月程度経過後にアンケートを実施し効果測定します。
6 事業実施により期待される効果	<p><b>【防災分野】</b> 災害発生時に逃げ遅れる人を少しでも減らすことが期待できます。自らの歩行の状態を知ること、自分に適した防災グッズの精査や避難計画等を考えるきっかけになります。</p> <p><b>【産業分野】</b> 武豊町の特産品や農産物に触れる機会が販売所以外に拡大することで、特産品や農産物の意識づけがなされ、地産地消の推進に寄与することが期待できます。</p> <p><b>【その他】</b> アンケートの内容や結果により、コース等の改良・変更や他分野との連携などの対応が可能であることから、町の様々な課題解決の手法として利用できる可能性があります。</p>
7 事業の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候に左右されません。</li> <li>・ウォーキング中の交通事故の心配がありません。</li> <li>・「武豊町地震・津波ハザードマップ」記載の避難目標地点までの距離を確認することで、自分の歩く速さでは避難に要する時間がどれくらい必要なのか疑似体験することができ、津波到達（55分）までの避難行動の参考としていただく。</li> <li>また、避難時に携行する非常持出袋の重さを体験していただき、災害発生時の備えの参考としていただく。</li> <li>・武豊町の特産品や農産物、販売所をPRすることで、行ってみたい購入してみたいと感じていただけるコースとなります。</li> <li>・特産品や農産物と関わりが少ない分野との連携により、新たな視点から情報発信および、今までアプローチが困難であった層への周知が可能です。</li> </ul>
8 今後の事業ビジョン	<p>さらなる課題解決に向け、以下のような展開を考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際のコースも含めた、ウォーキングコースの種類を検討。</li> <li>・生活習慣病の予防等、健康分野との連携検討。</li> <li>・防災や産業分野においては、より効果的なコース内容の検討。</li> <li>・今後町が作成するマップに資する、アンケート結果の共有・連携等。</li> </ul>
9 他の交付金等への申請状況 (交付金名・予算額) ※なければ「なし」と記載	なし
10 その他	

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。